

東北エリアにおけるインバランス量（速報値）の誤算定について

当社において、平成29年2月23日～2月25日の当社エリアのインバランス量（速報値）について、システムのソフト不具合により誤ったデータを作成し、電力広域的運営推進機関（以下：広域機関）および日本卸電力取引所（以下：JEPX）に送信していたことを3月2日に確認しました。

当社としては、誤ったデータが確認されたことを踏まえ、3月2日に正しいデータに修正のうえ、広域機関およびJEPXに再送信いたしました。

その後、本日（3月3日）、JEPXのホームページ上で当社エリアのインバランス量（速報値）に誤りがあったことについて公表されるとともに、JEPXでは、2月23日～2月25日のインバランス量（速報値）を修正しております。

つきましては、本日より前に2月23日～2月25日の間のインバランス量（速報値）をJEPXホームページ上で参照された方は、再度参照くださいますようお願いいたします。

多数の関係者の皆さまにご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止対策を徹底してまいります。

1. 事案の状況

- ・東北エリアのインバランス量（速報値）が、2月23日、24日の48コマ全てにおいて30万kWh程度の誤差が、また、2月25日の48コマ全てにおいて300万～400万kWh程度の誤差が発生していることを、3月2日に当社において確認。

2. 調査結果

- ・2月25日にシステムの改修を行ったが、それ以降、ソフト不具合により、本来、3日前データ（今回は22日）のみインバランス量（速報値）が作成されるべきところ、2月23日～25日までのデータも作成されたことから、誤ったデータが広域機関およびJEPXに送信された。さらに、作業日当日（25日）についてはインバランス量に関わる実績データが未収集にも関わらずデータが作成されたことから、大幅な誤差が生じた。

3. 対応状況

- ・2月23日～25日のインバランス量（速報値）のデータを修正し、3月2日に広域機関およびJEPXに再送信を実施。
- ・3月2日にシステムの改修終了。

4. 再発防止対策

- ・システムの改修にあたっては、作業終了後の確認作業の再徹底を実施するとともに、データチェック機能等の機能改良を行うこととする。